

公益社団法人 私立大学情報教育協会
2019年度第6回短期大学会議教育改革 ICT 運営委員会議事録

I. 日 時 令和2年3月17日(火) 17:00~19:00
場 所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 戸高委員長、三田委員、西岡委員、大重委員(ネット)、和泉短期大学(深町氏)、
大阪夕陽丘学園短期大学(治京氏)、上田女子短期大学(林氏)、
日本マイクロソフト(久木田氏、津隈氏、廣瀬氏)
(事務局 井端事務局長、中村)

III. 検討事項

「地域貢献支援事業コンソーシアム」への参加申込短期大学における取組み状況について
情報共有を行うとともに日本マイクロソフト(株)から、プラットフォームシステム
(Microsoft Teams)の可能性について意見交流を行った。

1. 地域貢献支援事業コンソーシアムの参加確認(参加校・担当者)と事業との関わりにつ
いて

(1) 高齢者支援事業について

① コンソーシアムの参加確認は、和泉短期大学、山野美容芸術短期大学、実践女子大学
短期大学部の3校が確認できた。また、担当者については、山野美容芸術短期大学は及
川氏、実践女子大学短期大学部は三田氏、和泉短期大学は4月に決定する予定。

② 各短期大学における高齢者支援事業の地域との関わりについては、以下の取組みが報
告された。

※ 和泉短期大学では、神奈川県相模原市と包括連携協定を結び、介護福祉分野をはじ
め全般的な取組みを行っている。

※ 山野美容芸術短期大学では、埼玉県本庄市と美容の施術を通して高齢者の相談窓口
の一つとして美容室を福祉チャンネルとする実証研究を行う他、高齢者の社会参加に
よる生活の質向上と日常動作の向上、生きがいづくり、孤立防止、健康寿命の延伸に
美容を活用する取組みを行ってきた。

※ 実践女子大学短期大学部：東京都日野市と協定を締結し、日野市と連携のもと高齢
者支援事業を実施している。

(2) 地域価値発見支援事業について

① コンソーシアムの参加確認は、大阪夕陽丘学園短期大学、別府大学短期大学部、上田
女子短期大学の3校が確認できた。また、担当者については、大阪夕陽丘学園短期大学
は治京氏、別府大学短期大学部は衛藤氏、上田女子短期大学は林氏である。

※ 大阪夕陽丘学園短期大学では、三重県志摩市と包括連携協定を締結し、産学共創の
コーオペ教育(Cooperative Education)で地方創生を推進している。

※ 別府大学短期大学部では、大分県臼杵市と連携し地域支援事業を行っている。

※ 上田女子短期大学では、学内の「地域連携センター」が中心となり、長野県上田市
商工会議所と包括連携協定を締結し、地域広報や公開講座の取組みを行っている。

(3) 地域課題取組情報共有の支援事業について

① コンソーシアムの参加確認は、上記6校以外に、大阪学院大学短期大学部、愛知みず
ほ短期大学、新島学園短期大学、大妻女子大学短期大学部の4校が確認された。

② 高齢者支援事業と地域価値発見支援事業の取組み状況について、全10校が情報を共
有できるようにプラットフォームの構築を急ぐことにした。

2. コンソーシアム事業のプラットフォームについて理解の共有

(1) 日本マイクロソフト(株) Teams 運用のイメージデモ

日本マイクロソフト(株)から Teams のデモが行われた。それに基づいて Teams を
どのように組み込むことができるか可能性を検討した。本協会の支援事業は3つのテー

マで Teams を用いて行うことを希望しており、Office365 ライセンス所有者について検討する必要があるとのことで、後日連絡を受けることになった。その後の連絡によれば、無償版の Teams で運用ができることが連絡され、テーマごとにホスト校を決めて使用することになった。

(2) Teams 運用の可能性について意見交換

Teams 運用については、日本マイクロソフトの回答を待つこととした。一方、ホスト校については、以下のように決定した。

- ・ 高齢者支援事業：実践女子大学短期大学部の三田氏
- ・ 地域価値発見支援事業：志學館大学の太田氏
- ・ 情報共有事業：戸板女子短期大学の西岡氏

3. 令和2年度における地域貢献支援事業試行の具体化計画案検討の進め方について

① 試行におけるプラットフォームの構築について

プラットフォームは、無料版 Teams を使用する。ホスト校の設定により、短期大学間・短期大学の学生同士によるチャット、映像会議、資料の共有が可能である。但し、学生の参加については参加校のゲストとして加わることで可能になる。なお、Teams の使用経験がなかったため、次回会議では Teams による遠隔会議を試行することにした。

② 「高齢者支援事業」、「地域価値発見支援事業」の検討と試行スケジュールについて

※ 高齢者支援事業は、3校が進めている地域自治体等との取組みについて前回に続き情報共有を行う。そのうえで、個々の取組みについてプラットフォーム上で取組状況を紹介し、短期大学間で取組み内容について意見を出し合い、多面的に解決策を生み出す仕組みとして、学生から自治体等への提案・要望の発信などについて検討していくことを確認した。

※ 地域価値発見支援事業は、3校が進めている地域自治体等との取組みについて前回に続き情報共有を行う。そのうえで、各短期大学の取組みについてプラットフォーム上で状況を紹介し、短期大学間で取組み内容について意見を出し合い、多面的に解決策を生み出す仕組みとして、課題解決のアイデア等の発信などについて検討していくことを確認した。

※ スケジュールについては、次回あらためて確認することとした。

4. その他（次回委員会の日程）

次回は Teams を使ったネット会議とし、4月11日(土)10時にコンソーシアム参加校とともに地域貢献支援事業の詳細計画について確認を行うこととした。

以上